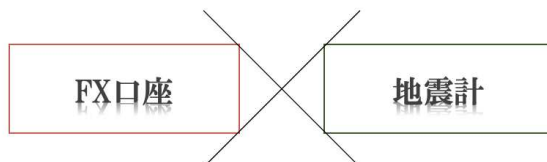


復興財源 ダイナマイト

エグゼクティブサマリー

日本での大災害は円高に繋がる傾向にあり、FX的視点からは一攫千金の機会といえる。本プランでは、これを倫理的な問題に繋げるのではなく、活用するという発想の転換を試みた。要点は以下6つに集約される。

- 大災害→円高という流れはFX的には大チャンス。
- 都道府県or市町村がFX口座を作成し、そこに剰余金を注入する。
- 各都道府県に設置されている地震計などのデータとFX口座をリンクさせ、大災害の発生と同時に自動で円を買うシステムを実装する。
- 円高が進んだ時点で適宜円を売ることによって利益を生み、復興財源に充当する。
- リスクの許容度によっては**莫大な復興財源の確保**が可能となる。
- プランBとして、上記システムの独占権の売買が挙げられる。



目次

P2 – エグゼクティブサマリー

P3 – 目次

P4 – 日本での大災害は円高を誘発する

P5 – 都道府県等がFX口座を作成し、地震計等とリンク

P6 – シミュレーション：神戸市×ドル円ver.

P7 – プランB：独占権の販売

P8 – 総括

日本での大災害は円高を誘発する



出典：<https://media.monex.co.jp/articles/-/19631>

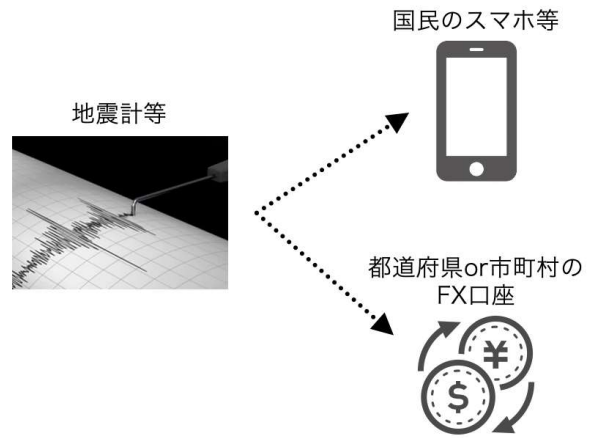
都道府県等がFX口座を作成し、地震計等とリンク

現状



観測機器の情報を瞬時に伝達し、緊急地震速報や津波警報の発出に繋げている。

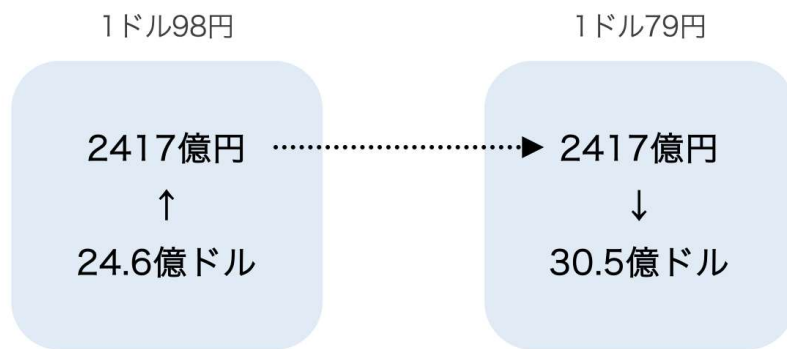
将来



観測機器の情報を都道府県or市町村のFX口座にも伝達し、大災害が発生した場合に円を買う。円高が進んだ時点で精算し、利益を生む。

シミュレーション:神戸市×ドル円ver.

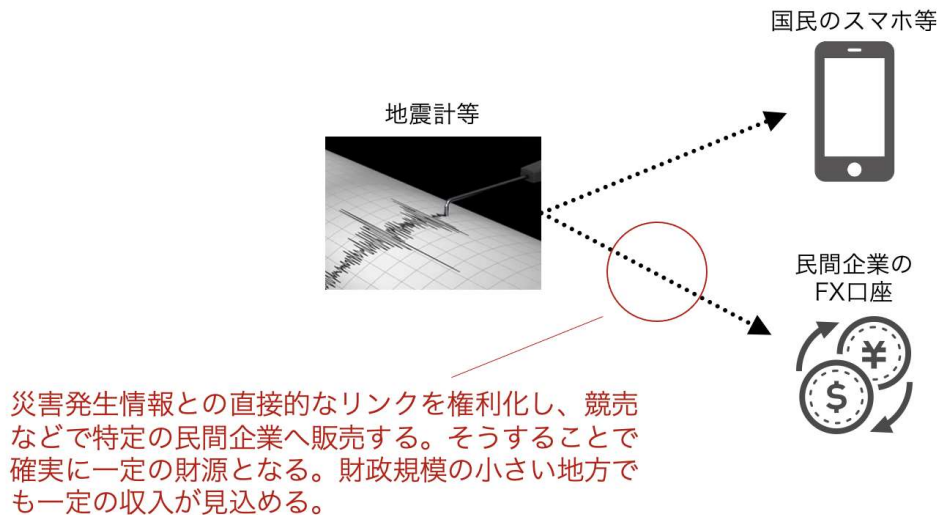
阪神淡路大震災発生時点でのドル円相場は1ドル98円。そこから円高が進み、4月には79円となった。当時、神戸市が本プランを実装しており、純資産の1割を充てていた場合、**5.4億ドル**が生まれていた。※純資産について当時の情報を取得できなかったため、令和3年度会計の数値で代替



純資産の1割のみで+5.4億ドル

プランB: 独占権の販売

本プランの阻害要因として、FX口座に税金を投入することに対する国民の感情的な反対、財政規模に利益が比例することが挙げられる。そこでプランBとして、金融機関等への独占権の販売を提示する。



総括

本プランは都道府県or市町村がFX口座を持つという挑戦的なアイデアが根底にある。実現については国民の感情的な同意を得られず、空論に終始する可能性を孕んでいる。他方、大災害発生時にいち早く円高に備えたアクションを起こすことで、海外の金融機関よりも優位なポジションを取れる点も事実であり、これが国民の説得材料となり得る。

また、大災害が円高を誘発するメカニズムについては議論がある。円高を起こす決定的な要因が不明である以上、本プランの確実な運用には考察の余地が残されている。

S


- 引用 -


地震が起こる度に市場でささやかれる「地震=円高」説。実態は決定的な理由が見つからない「アノマリー（相場の経験則）の一種で、それ自体に根拠は乏しい」（みずほ銀行の田中誠一氏）との声が出ている。


日本経済新聞：<https://www.nikkei.com/article/DGXMZO31890500Y8A610C1000000/>





解決したい課題：アイデアで解決したい課題は何で、それをどうしたいですか？


-  解決方法：課題をどうやって解決しますか。骨子を記載ください。


-  類似（独創性）：現在、このアイデアと類似する仕組みがあれば記載ください（検索してみてください）

-  有意性：既に存在する類似の仕組みと比べて、どこが優れていますか（存在している場合のみ記載ください）

-  実現方法：どのように実現するか、できるだけ具体的に記載ください（ファイル添付も可）

-  課題・障壁：実現する上で課題となることは何ですか、それをどうやって克服しますか

-  期間・コスト：実現に必要な費用と期間はどれくらいでしょうか。初期リリースとそれ以降など記載ください

-  未来像：実現したとき、人々がどのように恩恵を受けて幸せになれるか、理想像をお書きください